

3、おむつの交換－Ⅲ

マイバ乳児保育園

子ども 12人 保育士 2人 保育助手－2 部屋に 1人（助手は保育には入りません）

外遊びがなかったときは、遊びの中から子どもをおむつ交換に誘っていきます。子どもが自立して行えるところは見守っていますが、難しそうなどころでは「かかとを引っ張ると脱ぎやすいわよ」と方法を教えています。ズボンを下ろすところでも、まずは自分で試みてから保育士が「手伝うわね」援助していきます。

シャワー台は二クラスの共同です。前の子どもが使った便器・シャワー台・おむつ交換台は必ず消毒してから使います。

おむつを交換する時は必ずお尻を洗います。

途中で、おむつの外れている子どもがトイレに来ました。このような時は、担当の保育士でなくてもトイレにいる保育士がみます。

「ちょうどいい暖かさにしましょうね、お尻を洗ったら気持ちいいわよ」といいながらお湯を調節しています。

一人でトイレに来た子どもが手を洗っている様子にも声をかけています。

おむつをしている子ども、おむつ交換の後には手を洗います。もっと小さな子であれば、座れるようになっていれば、保育士の膝に座らせて手を洗います。

水の調節の仕方（冷たい水から出して、次にお湯を出す。とめる時は、お湯からしめて、最後に水をとめる。・・・やけどしないための方法）や、「水を止める時は鏡の方にひねってね」など、方向に関しても、毎回丁寧に伝えていきます。

手を洗った後は手をふき、髪の毛をとかし（鏡で確認しながら身だしなみを整え）、入室します。・・・見学者が多く子どもが緊張しているため、あっさりと終わりました。